

道しるべ

第1号

令和5年4月29日発行
進路指導部

見えない根を育てる

校長 近藤 千晴

いよいよ令和5年度がスタートしました。この春本校の高等部を卒業した皆さんも、それぞれ新しい場所で、少しずつ生活のペースがつかめてきた頃かと思います。本校にもこの春小・中・高あわせて46名が入学しました。新しい環境に身を投じることは緊張を伴いますが、新たな人とのつながりが生まれ、自分の可能性に気付くきっかけにもなることでしょう。これからがとても楽しみです。



さて、始まったばかりではありますが、皆さんは卒業後のことを考えていらっしゃるでしょうか。保護者の方からしばしば「卒業後の進路に向けて、いつから準備をすればよいのでしょうか。」という質問を受けることがあります。「進路」というと、ついつい中学部・高等部になり、作業学習が始まってから…と考えがちですが、果たしてそうでしょうか。

実は、小学部（もっと言えば幼児期）からの全てが、卒業後の生活につながっています。たとえば、自ら考え、主体的に生活するためには、働く技術以前に、まずは健康に生活できるよう早寝早起きや食事など毎日の習慣の確立、そして自分で考えようとする気持ちや課題に向かっていこうとする意欲や自信、日々の笑顔での挨拶や周囲の人との自分なりのコミュニケーションができることなども大事です。これらの力は、急に身に付くわけではありません。本校では、学部と寄宿舎が同じ目線で取り組んでいます。学校だけで身に付くものでもありません。ご家庭でも意識していただければ、きっと本物の力になることでしょう。

詩人で書家の相田みつをさんの詩に「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根は見えないんだなあ」というものがあります。一番大事なものは見えないけれど、見える力を支えています。根っこに様々な栄養をあげて、太くたくましく嵐に負けない木（子ども）を育てたいものです。今年度もよろしくお願ひいたします。

進路の手引きをHPに掲載しています。

昨年度から「進路の手引き」を新しくしました。今後は、本校のホームページ上でも閲覧できますのでご活用ください。内容は、本校の進路学習や進路状況などについてです。

各市の福祉サービスの情報は、毎年更新されますので、由利本荘市は「福祉のしおり」、にかほ市は「障がいを持つ人のためのガイドブック」をインターネットで検索していただくか、各市福祉課でお尋ねください。



「未来へのスケッチ」の作成と活用

0-041
みらいのゆめ
みらいへのスケッチ
ぶ ねん くみ
なまえ

が っ こ う	がんばること
	おねがいたいこと
い え	がんばること
	おねがいたいこと

ゆり支援学校ではキャリア・パスポートである「未来へのスケッチ」を作成しています。

キャリア・パスポートとは、児童生徒が自分の変容・成長を自己評価するためのものです。

小学部では「学校」と「家庭」、中学部・高等部は「学習」と「生活」、「地域」における目標（がんばること）を立てます。目標を立てる際は、児童生徒とはもちろん、場合によっては保護者と対話しながら、児童生徒が主体的に目標を設定できるようにします。また、支援してほしいこと（おねがいたいこと）を本人が周囲の人とともに考えられるようにしています。

年度末には、振り返りに対して保護者の方からもコメントをいただくようになっています。

1年間の子どもの成長を見守り、学習の成果を次の年（未来）へつなげられるよう、御協力をよろしくお願いします。

がんばっています！！卒業生

先月3月10日に本校を巣立った令和4年度の高等部卒業生たちも、社会人生活をスタートしています。

コロナ禍の影響により実に4年ぶりに催された、「新年度のつどい・入所式」に臨んだ方、数日間の新入社員研修に臨んだ方、早速、15:00から22:00のシフト（就業時間）に従事している方、など様々です。中には、グループホームでの生活を始め、「働く」と「暮らす」両面での新生活スタートを切った方もいます。

卒業生のがんばり（自立と社会参加の姿）が、後輩たちのあこがれ・目標となります。

